

国土地理院 入札監視委員会定例会議 議事概要

開催日及び場所	令和6年7月26日（金）国土地理院関東地方測量部会議室	
委員名簿（4名）	委員長 新谷 昌人（東京大学 地震研究所附属観測開発研究センター教授） 委員長代理 谷本 誠司（弁護士） 委員 加瀬 豊（公認会計士） 委員 山本佳世子（電気通信大学 大学院情報理工学研究科教授）	
審議対象期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日	
抽出事案	総件数 8件	（備考） 審議案件は別紙1のとおり
測量業務	4件	
内 訳	簡易公募型競争入札方式	
	簡易公募型競争入札方式（総合評価落札方式）	
	簡易公募型プロポーザル方式	
	随意契約方式	
物品・役務	4件	
内 訳	一般競争入札方式	
	企画競争入札方式	
	参加者の有無を確認する公募手続きを行った契約方式（企画競争方式以外）	
	随意契約方式	
委員からの意見・質問、それらに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙2のとおり	別紙2のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	特になし	

審議案件詳細

【測量業務】

	入札方式	測量業務名	業務種別	手続への参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (千円)	落札率	備 考
①	簡易公募型競争入札方式	成果不整合地域における基準点改測（新潟県関川地区ほか1地区）	基準点測量	1	1	令和5年8月8日	日豊・アースプランニング共同企業体	4,620	99.06%	
②	簡易公募型競争入札方式 （総合評価落札方式）	令和5年度全国活断層帯情報整備に関する調査	地理調査	1	1	令和5年4月14日	国土・地域開発共同企業体	29,370	96.08%	

	入札方式	測量業務名	業務種別	手続への参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数	技術提案書の提出者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (千円)	落札率	備 考
③	簡易公募型プロポーザル方式	G N S S 標高測量マニュアルの検討支援業務（インフラDX基盤）	調査研究	1	1	令和5年8月7日	公益社団法人日本測量協会	17,991	99.85%	

	入札方式	業 務 名	業務種別	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (千円)	落札率	備 考
④	随意契約方式	能登半島地震に係る航空レーザ測量業務（新潟長岡地区）	写真測量	令和6年2月29日	朝日航洋株式会社	239,470	98.87%	

【役務の提供等及び物品の製造等】

	入札方式	業務名	業務分類	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (千円)	落札率	備 考
⑤	一般競争入札方式	関東地方測量部における測量成果等閲覧・謄抄本交付支援業務委託	役務の提供等	1	1	令和5年4月3日	一般財団法人日本地図センター	15,290	99.52%	

	入札方式	業務名	業務分類	企画提案書の提出者数	企画競争参加資格を満たす企画提案書の提出者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (千円)	落札率	備 考
⑥	企画競争入札方式	統合災害情報システムのソフトウェア運用支援等業務	役務の提供等	1	1	令和5年4月3日	日本アイ・ビー・エム株式会社	27,339	97.77%	

	入札方式	業務名	業務種別	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (千円)	落札率	備 考
⑦	参加者の有無を確認する公募手続を行った契約方式 （企画競争方式以外）	地理地殻活動研究・調査業務に関連する解析用計算機等の利用支援業務	役務の提供等	令和5年4月3日	株式会社コスモソニックツワン	11,406	100.00%	

	入札方式	業務名	業務種別	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (千円)	落札率	備 考
⑧	随意契約方式	1mメッシュ標高管理用データファイル編集・変換ツール作成業務	役務の提供等	令和6年1月12日	株式会社マプコン	5,467	99.90%	

意見・質問	回 答
1. 定例報告 (1) 令和5年度発注物件 ● 特になし (2) 指名停止等の運用状況 ● 特になし (3) その他 ①設計変更に伴う契約変更 ②一者応札契約の状況 ③一者応札が続いている契約案件の適正な契約方式への移行 ● 一者応札時の対応として昨年から聞き取りを始めたということだが、現段階で入札に参加しなかった理由の共通した傾向などは分かったか。今後はそうした傾向を分析して、発注対応をお願いしたい。 ● G N S Sの保守・運用は、運用担当者の24時間配置が必要なため、単年度ごとに実施体制を確保することは困難かもしれないが、他分野において24時間配置の業務を上手く運用できている事例があるのではないか。何年かに1度業者を替えるなどすべきだが、技術者が不足しているということか。 ● G N S Sの保守は、全国1300か所を一律に管理し、5日以内の復旧が求められるため、対応できるのは、この分野に非常に特化した専門知識を持つ技術者を抱えた大規模な会社など、非常に限定的になるのではないか。例えば、地域ごとに分割発注する、できる	● 情報収集のために仕様書等を受領したとの回答も多いが、人員配置ができないことやほかの発注案件等を請け負ったためタイミング的に難しいといった回答であった。引き続き、聞き取りを継続して傾向の把握に努めたい。 ● システムや情報処理に精通した担当者をつくばに24時間配置しなければならないのは、ハードルが高いかもしれない。入札要件としては、当該システム以外の観測システムの運用実績も認めているが、要件を緩和しても、応札に繋がらない。毎年、システムの各要件が変わるため、単発的に途中から参加するのは難しいと推測している。 ● 電子基準点等を常に良好な状態に維持するためには、観測機器や通信機器等の専門知識を有する担当者が求められるため、地域単位で対応していただくのは難しいと考えている。基本的には全国一括で保守する形としており、地域ごとの分割発注は試みたことがない

意見・質問	回 答
範囲で要件を緩和するなど、次世代の技術者を育てるという意味においても、新たな企業等の参入を促すための検討をされたい。 ● 重要なインフラの保守等を一者に頼るような状態であり、リスク管理の面でも代替手段の検討を進めていくのが重要である。	が、ご意見を踏まえ検討させていただく。 ● ご意見を踏まえ検討する。
2. 抽出事案の審議 <測量業務> 簡易公募型競争入札方式 ①成果不整合地域における基準点改測 (新潟県関川地区ほか1地区) ● 山間部での業務で難易度が高いということだが、同業務のほかの案件では入札業者が複数者で落札率も低く、当該案件のみ一者入札で落札率が高い。地域で状況が変わるものなのか疑問である。 ● ほかの案件と比較して、この案件の参加資格要件などに違いはあるのか。 ● 同じ業者のほかの受注案件では落札率はあまり高くない。山間部の基準点の改測作業であったため、積算の結果、精度の高い落札率になったのか。今後、非常に高い落札率に対しては、ヒアリング等を行うと良い。 ● 当初作業量5点で発注したところ、入札不調で作業量4点に変更したとのことだが、除外した1点の難易度が入札不調に影響したのか。	● 業務地域の条件により同じ業者であっても、会社の方針及び戦略等があるため、案件により落札率が異なると推察する。 ● 成果不整合地域における基準点改測業務の参加要件は、全て同じである。 ● 公表している積算基準を用いて、業者が精度良く入札価格を算出したと考えられる。ヒアリング等については、ご意見を踏まえて検討する。 ● 本業務は、自治体からの改測要望に基づき実施しているため、入札不調時に当該自治体と調整した基準点1点を除外しても、後続作業に支障がないこと

意見・質問	回 答
	が確認できたため設計を変更したものである。
簡易公募型競争入札方式（総合評価落札方式） ②令和５年度全国活断層帯情報整備に関する調査 ● 技術的な難易度が高い業務であるため、同様の案件の参加表明者も一者になってしまうのか。 ● 技術点の評価方法はある程度ルール化されていると思うが、技術者の数など、年々傾向は変わると思うので、現状に合った競争性の確保ができる形に見直しをすることが望ましい。定期的な見直しは行っているのか。 ● 空中写真判読ができる技術者が減ってきている状況で、配置予定技術者に関する要件が厳しく設定がされていると思う。技術者の育成という意味でも、要件を緩和して若い技術者が業務を担当できるようにすることで、他社の参入も期待できる。大学の中で技術や資格が取れるような学科等もあるので、学生が企業に魅力を感じて就職することで技術者が継続的に担保されるような仕組みがあると良い。	● 過去の状況を見ると、地形判読できる会社は複数者ある。優良技術者表彰等の加点も影響して参入しにくい状況や、技術者が減っていて体制が確保できないことなどが課題と推察している。 ● 技術点の細かな配点等は、一定の範囲内において変更が可能であり適宜見直しを行っている。少しでも参加表明者数の増加に繋がる形となるよう今後も状況を見ながら対応していきたい。 ● 空中写真判読ができる技術者を増やしていくことは中長期的な課題である。現在のルールの中でも若手技術者を優遇する方法などがあると思うので、それらを活用することも検討しながら改善していきたいと考えている。
簡易公募型プロポーザル方式 ③GNSS標高測量マニュアルの検討支援業務（インフラDX基盤）	

意見・質問	回 答
● 分割発注すると年度内に納期が間に合わないということであったが、年度内に間に合わなくても良いのではないか。 ● マニュアルの作成はデータ取得の時点によらず急がなくてもできるのではないか。 ● 技術的にハードルがあったとの分析だが、そもそもこうした業務が一者しか受注できない状況ということか。 ● 複数者から参考見積りを聴取し、予定価格を設定するということだが、例えば技術的に高度な案件のときは、実績の少ない業者であれば、高めの見積りとなると思う。低い予定価格を設定することにより、他者が参入できなくなるので、設定方法を見直すことも検討されたい。	● 年度内か否かによらず、マニュアルが使用するデータが揃い次第速やかにマニュアルを整備する必要があった。発注を分割するとその分マニュアルの整備が遅くなるので、今回は全て一連の作業として発注した。 ● 使用するデータは時間が経つに従って精度が劣化していくので、できる限り早くマニュアルを作成したという次第である。 ● 一者しか受注できないとは考えていないが、今回は一者しか手を挙げなかったもので、業務内容のレベルを必要以上に下げない範囲でハードルを下げる事ができるか検討していきたい。 ● ご意見を踏まえ検討する。
随意契約方式 ④能登半島地震に係る航空レーザ測量業務（新潟長岡地区） ● 今回は、ほかの緊急撮影や緊急測量作業などの発注はなかったのか。 ● 実際に迅速に対応されているということか。	● 協定を用いて緊急撮影を実施した。 ● そのとおりである。

意見・質問	回 答
＜物品・役務＞ 一般競争入札方式 ⑤関東地方測量部における測量成果等閲覧・謄抄本交付支援業務委託 ● 窓口対応件数は年間4000件程度ということだが、200日稼働と仮定すると、1日20件程度を3人で対応となる。それほど多くないという印象を持つ。1件毎の質問の内容が難しいのか。対応に専門的な知識が必要ということだが、全てが難しい質問ではないと想像するが、実際にはどのような状況なのか。	● 長時間滞在され色々なものを見られる方が多く、かなり専門的な知識を要する問合せも様々あると認識している。過去の実績等を踏まえて、適切な人員を配置している。
企画競争入札方式 ⑥統合災害情報システムのソフトウェア運用支援等業務 ● 統合災害情報システムを開発した業者が運用している現在の状況では、他者から見ると独自の技術等を使っている可能性等を考えてしまい、参入しにくいのではないのか。 ● 過去の落札金額の推移を確認しているか。また、確認後に参考見積りを見直し、単価の適切性などの検証を行っているのか。	● 大規模なシステムであり、詳細な仕様書を用意しても全てを理解することは難しいと思う。ただし、初期のシステムでは、別の者による運用実績があるため、他者参入の可能性が全くない訳ではないと思う。 ● 企画競争であり、提示した金額内でできることを提案していただく形であるため、落札率が相対的に高いというのは、やむを得ないと思っている。過去の落札金額や予定価格の分析については今後検討する。
参加の有無を確認する公募手続きを行った契約方式（企画競争方式以外） ⑦地理地殻活動研究・調査業務に関連する解析用計算機等の利用支援業務	

意見・質問	回 答
● 参加意思の表明者が0者となったのは、支援業務の対象が、地理地殻活動研究センターの非常に特殊な計算機であることが影響しているのか。 ● リスク管理の観点からも他者が参入できるよう技術者を増やす方策を、引き続きご検討いただきたい。	● そのとおりである。 ● ご意見を踏まえ検討する。
随意契約方式 ⑧1mメッシュ標高管理用データファイル編集・変換ツール作成業務 ● 受注した会社が開発したソフトウェアに新しく機能を追加するという業務か。 ● B C Pの運用面でのリスク管理として、バックアップ体制、代替案等もご検討いただきたい。	● そのとおりである。 ● ご意見を踏まえ検討する。可能な限り共通のフォーマットとなるよう検討を開始している。
【全体を通して】 ● いくつかの抽出事案で競争性が乏しくなっている要因として、技術者の不足や先行開発業者が参入しやすい状況等の共通の背景があるように思われる。そのような状況を改善するような方策を今後検討していただきたい。	● ご意見を踏まえ検討する。